

ビデオ 通信

2011年
7月18日(月)
No.3500

1970年5月16日 第三種郵便認可
毎週月・木曜日発行
1ヶ月 ¥11,550 (税込)
発行：飯澤剛
編集：齋藤浩一、齋藤知香

ユニ通信社

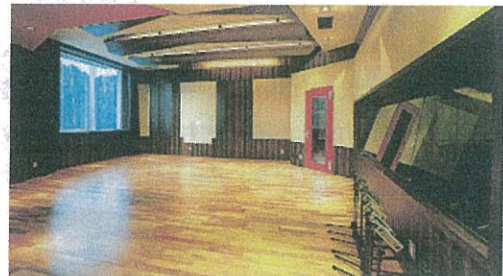
東京都千代田区神田司町 2-10
神田司町国土ビル 2F 〒101-0048
TEL : 03-5256-1521
FAX : 03-5256-1525
E-mail : vt@uni-press.net

ウインクツアー、代々木公園スタジオをオープン

映画用ダビングステージと音楽スタジオ

銀座スタジオ／道玄坂スタジオ／西口スタジオに次いで 4 拠点目

㈱ウインクツアーはこのほど、映画用ダビングステージと音楽スタジオで構成する同社 4 拠点目となる「WINK2 代々木公園スタジオ」をオープンした。12日には関係者を招いた同スタジオの内覧会を開催し、盛況となった。これによりウインクツアーは 4 拠点で、オンライン編集室 12 室、PD 編集室 24 室、MA 室 6 室、ダビングステージ 1 室、録音ステージ 1 室、CG 室 1 室の合計 45 室のポストプロダクション体制となった。



「Stage1 Cinema」の全景（左）と「Stage2 Music」のステージ

国内最大規模の映画用ダビングステージと音楽スタジオ

オープンした「WINK2 代々木公園スタジオ」は、東京・渋谷のNHK放送センター西口と代々木公園の間に位置し、WINK2 西口スタジオからも徒歩圏内の至近の拠点となる。

5階建てビルの3～5階部分を使用し、5階には日本最大規模の映画用ダビングスタジオとなる



コンソール側から前方方向の「Stage1 Cinema」

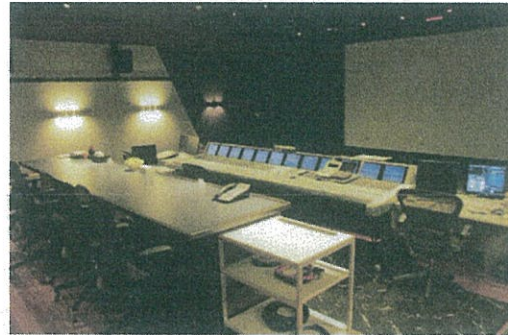
「Stage1 Cinema」、4階には音楽録音スタジオの「Stage2 Music」を配し、3階はオフィスという構成となる。スタジオ設計は、音響設備設計家の豊島政実氏（アビーロードスタジオ、タウンハウススタジオ、メトロポリス、スティング、フィル・コリンズ、エンヤ等）が陣頭指揮を執り、各スタジオには Euphonix 「System 5 Hybrid コンソール」、Avid 「Pro Tools|HD」、映像用の大スクリーンを標準設置。〈機材、設備はハリウツ

ドの音響スタジオとの完全データ互換も可能な最新鋭の機器を装備した〈同社〉としている。

映画用ダビングステージ「Stage1 Cinema」は面積 95.5 m²/高さ 3.54m という広大なスペースを有し、スクリーンサイズも 7.053 × 2.915m と、スタジオとして最大級のスクリーンを備えている。フィルムプロジェクター KINOTON「FP30EII Studio Projector」のほか、デジタル上映作品向けに DCI 準拠の 2K DLP シネマプロジェクター Christie 社「CP2000S」を設置。

さらに、フィルムプロジェクターには、国内映画用スタジオとしては初の試みともいえるオプティカル音声トラックリーダーを持たせることにより、フィルム/デジタルともに劇場における再生状態の確認を完全に行える環境を構築したという。デジタルシネマサーバーは Doremi「DCP2000」も装備する。なお、コンソールは「System 5 Hybrid 仕様」(12ft/72Faders、Total Inputs: 212ch)を導入している。

一方、音楽スタジオの「Stage2 Music」は、ドラムやピアノなど楽器の録音のほか、アニメーションや映画の音声収録ができるステージ (76.3 m²) と、バーチャル VTR を利用した劇場作品の仕上げも可能なコントロールルーム (71.6 m²) を持つ音楽録音スタジオとなっている。



「Stage2 Music」のコントロールルーム

同社では〈劇場用および一般環境両用のスピーカーを装備し、ステージ、コントロールルーム両方に大きなスクリーンを配置した環境は、

従来のようにコントロールルームで小さな画面を観ながら音声収録を行うのとは異なり、大画面で、より精密な録音が行えるとともに、SACD や DVD オーディオといったマルチチャンネル音楽作品の録音、ミックスダウン、Blu-Ray や HD DVD といった映像作品の制作も行える完全マルチチャンネル・映像作品対応のスペース〉としている。

コンソールは「System 5 Hybrid 仕様」(9ft/48Faders、Total Inputs: 164ch)、マイクプリアンプは Grace「m802」/ FORSELL TECHNOLOGIES「FETCODE」ほか、マイクロフォンは NEUMANN「M150/M149」、SENNHEISER「MKH800」、SCHOEPS「CMC6/MK4」、DPA「4004」、ROYER「122V」などを導入している。

Stage1/Stage2 ともに専用のラウンジ/個別のキッチンスペースを設置しており、長期間にわたるプロジェクトベースの編集にもプライベート空間を確保した快適な作業環境を提供する。また、スタジオの窓からは、代々木公園の緑を見ることができる。

VTR は HDCAM-SR/HDCAM/HD D5/HDV 等を装備。Pxis 3G ビデオディスクレコーダーによりファイルベースでのダビングも可能。2K の



Stage1 専用ラウンジ (上) と Stage2 専用ラウンジ

5.1ch サラウンド、DCP、35mm フィルムのドルビーサラウンド、DTS ダビング等のほか、将来的にはスーパーハイビジョンの 22.2 マルチチャンネル音響方式にも対応していきたいとしている。

ウインクツー分社化/メディアルタのスタジオ購入

既報の通り、(株)EX・アンド・アソシエイト（代表取締役：福田健二）はスタジオ事業を分社化し、100%子会社として(株)ウインクツーを7月1日付で設立（資本金 3000 万円）した。ウインクツーの従業員数は 46 人で、EX・アンド・アソシエイトと同じく代表取締役には福田健二氏が就任した。

さらに、ウインクツーでは同日付で、(株)メディアルタエンタテインメントワークスの富ヶ谷スタジオにおける機材および施設を購入することを発表、〈総合的なテクニカルカンパニーを目指すために映画および録音スタジオ設備が必要となっていた。今回のメディアルタ設備購入により、既存テレビ事業との相乗効果を高め、ポストプロダクションサービスのラインアップを広げることが可能と判断した〉としている。

ウインクツーは今回の「WINK2 代々木公園スタジオ」のオープンで、銀座 2 丁目で主に CM 対応のポストプロダクション拠点として展開する「WINK2 銀座スタジオ」、番組編集拠点として 2009 年オープンの「WINK2 道玄坂スタジオ」および 2010 年オープンの「WINK2 西口スタジオ」と合わせ 4 拠点となる。スタジオ事業本部長の加賀谷文夫氏はくまますま多様化していくニーズに、最適なワークフローを高いクオリティで提供できる体制が整いました。それぞれの拠点が相乗効果を高め、これまで以上のクリエイティビティとサービス体制を発揮できればと考えています〉としている。

◇(株)ウインクツー <http://www.wink-2.com/>

【WINK2 代々木公園スタジオ】

東京都渋谷区富ヶ谷 1-15-2 バルビゾン 55 TEL03-6407-2611

【WINK2 銀座スタジオ】

東京都中央区銀座 2-11-15 SF 銀座ビル 3/4F TEL03-3545-9011

【WINK2 道玄坂スタジオ】

東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル 2 号館 4F TEL03-5843-1700

【WINK2 西口スタジオ】

東京都渋谷区神山町 16-2 bitCube ビル 1/3F TEL03-5860-5630



High Speed Digital Cine Camera[®]

PHANTOM HD



OMNIBUS JAPAN
COMPUTER GRAPHICS & POST PRODUCTION

株式会社 オムニバス・ジャパン
〒107-0062 東京都港区赤坂 7-9-11

TEL 03(6229)0601/2
FAX 03(6229)0604